

笑顔ひろがる 豊かなくらし  
食の安全 子どもの未来 地球環境 守りたい

機 関 紙

# yodogawa

http://www.yodogawa.coop/

No.300 SEPTEMBER

# 9

特集 ヒロシマピースツアー報告……P4～P5

次号は10月11日発行です

## これからも組合員さんとよどがわ生協をつなぐかけ橋に

機関紙よどがわの第1号は、《よどがわ》創立1977年2月の半年前、創立準備をしている1976年9月に創刊し、今回300号を迎えました。たくさんの方の組合員さん、産地、お取引先業者のみならず、関係者のみなさんの多大なご協力の賜物です。

古い記事を見ると、機関紙が《よどがわ》生協の歴史を反映して、紙面を作っていることが改めてわかります。創設間もないころは、組合員が自ら生協を大きく育てていくという熱気が伝わってきます。

最近では商品や産地の情報、組合員活動の様子を伝えていきます。紙も再生紙を使用しており、印刷の技術の変遷もよくわかります。1色刷りからフルカラーになり、商品や活動の写真がより見やすくなりました。また手書きからワープロ原稿そしてパソコンを使った紙面作りに移り変わってきました。

組合員活動の様子を広く伝えていくという広報活動の役割です。たくさんの方の愛読者からの投稿や、さまざまな場での意見、ご要望が、よい紙面作りのエネルギーになっています。これからも感謝の気持ちを忘れず、組合員とうし、生協のよさを共感しあえる紙面をめざしていきます。ホームページもあわせて、今後とも機関紙・広報活動にご協力くださいますようお願いいたします。



これからも  
よろしく  
お願いします。

みなさん  
いつも  
ありがとう

### 機関紙「よどがわ」300号に向けて

元機関紙担当理事 機関紙委員長 藤元百代

1983年から約5年間、毎月発行を目指して、機関紙委員全員ではりきってました。当時委員は全員組合員。紙面の中に、よどがわの組合員さんが登場できるように企画を練って、足元書「しなべ

と」言いながら、たくさんの方の取材に出かけて奮闘しました。一番の想い出の企画記事は『班訪問』です。自薦・他薦の元気な班を訪問して、たくさんの方と元気の輪をいただきました。虹の輪のように《よどがわ》がいっぱい地域に広がってほしいな、わいわい・わくわくの日々でした。300号といわず、500号目指したいものです。

なつかしいイラストね。  
生協の歴史を感じるわ。



ちなみに  
登場したばかりの  
よどがわさんは  
こんなでした



私って  
今も昔も美人よね～



2009年4月発行の283号よりカラーになって、商品や活動内容の写真がよりお伝えできるようになりました。

2002年4月発行の200号より2色になってより記事を読みやすく。

1984年前後(50号頃)は機関紙委員会にて作成。「実践機関紙講座のあんない」や編集後記に担当者イニシャル表記が。

手書き活字が時代を感じますね。創刊当時は活字すべてが手書きだったそうです。

### 機関紙よどがわが 組合員さんに届けられるまで

<b>組合員さんのお手元へ</b> 月1回配布しています	<b>印刷</b> 印刷会社により印刷機にかけ印刷します。	<b>校正</b> 記事内容や文字や写真チェックを行います。	<b>編集会議2</b> 紙面内容、デザイン含めさらに検討します。	<b>ラフ作成</b> 検討された内容を大まかに紙面上でデザイン構成します。	<b>編集会議1</b> メインの記事や特集記事、組合員さんにお伝えする情報の内容を検討します。	<b>お便り・メールチェック</b> 組合員さんから送られたお便りやメールをチェックし、掲載する内容を選びます。
---------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	---	---	---



左記QRコードで、eフレンズやよどがわ生協からのご案内などの情報へ簡単にアクセスできます。

資料請求もできるよ!

